

(参考様式 4 - 1)

宮城北部地域地区活性化計画 改善計画書

令和元年 9 月 2 0 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
宮城県	宮城県	宮城北部地域	H20～24	H20～22
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
リサイクル施設 林業生産施設	別紙のとおり		別紙のとおり	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
地域産物の販売量の増加	32.70	20.28	62.02	当初計画
地域産物の販売量の増加	32.70	6.26	19.14	第 1 期改善計画
地域産物の販売量の増加	32.70			第 2 期改善計画

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値 A = (目標値 / 現状値) × 100 - 100、実績値 B = (実績値 / 現状値) × 100 - 100

2 目標が達成されなかった要因

東日本大震災の影響により素材生産量が落ち込み、第 1 期改善計画期間内に回復せず、生産目標 1,400 千 m³ に対し、生産実績は 1,121 千 m³ となり達成率は 19.14% と目標を下回った。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	令和 4 年度
事業の推進体制	本県の森林・林業・木材産業を取り巻く情勢の変化に的確に応じるために策定された、「みやぎ森と緑の県民条例基本計画（新みやぎ森林・林業の将来ビジョン）」に基づき、林業・木材産業の競争力強化や森林資源の多様な活用による森林地域の活性化、循環型社会の実現に貢献する県産材利用の推進等に係る施策を強化し、持続可能な林業経営の推進に取り組みながら、県産木材の生産流通改革や新たな需要創出に努め、林業・木材産業のより一層の産業力強化に向け、行政、森林所有者、林業、木材産業が連携し事業の推進を図る。
具体的取組方策	<ul style="list-style-type: none">・森林施業の集約化を進め一体的に路網整備を行うとともに、高性能林業機械を活用した効率的な作業システムを構築し、林業生産性の向上を図る。・製材加工の水平連携による徹底した効率化を図り、原木需給に関する情報の一元化やトラック輸送の効率化により、原木流通の合理化を促進する。・県内の林業事業者等に対し、森林所有者との長期経営受委託の取組を普及し、間伐等の森林施業の集約化や効率的な路網の配置などによる経営基盤の強化を図るほか、健全な経営基盤と的確な経営判断等に基づいた、安定的かつ効率的な事業運営が行えるよう育成を図る。

4 改善計画に対する第三者の意見

宮城県北部流域森林・林業活性化センター 会長 猪股 榮幸

近年の合板用材・木質バイオマス用材の旺盛な需要の高まりと相まって、本県民有林においては、人工林の収穫可能な面積が8割を超える見通しにあることなどの情勢を踏まえ、既存の生産流通体制のさらなる効率化・合理化が図られることにより、木材生産量の増加が期待できることから、当該改善計画については妥当と思われる。